

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち		評価担当	局名	市民政策局
	政策	国際・国内交流の推進と定住の促進			課(室)名	移住・定住促進室
	施策	移住・交流の促進			電話番号	087-839-2143
	基本事業	選ばれる地域づくりの推進			事業実施主体	市
	事務事業	移住・定住促進事業			事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	本市への移住・定住人口の増加を図るため、市民や企業・団体等からなる「たかまつ移住応援隊」との連携による情報発信や相談対応などを始め、本市の特性や強みである「生活のしやすさ」、「仕事のしやすさ」、「子育てのしやすさ」を生かした各種の移住・定住促進の取組を推進する。				
5年度概要	香川県移住・定住推進協議会としての各種取組 東京圏UJエターン移住補助金 瀬戸・たかまつキャリアサポートセンター 移住促進プロモーションの強化に関する取組等				
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト		事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

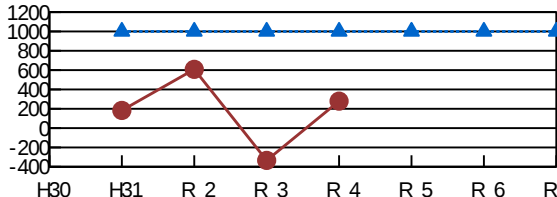
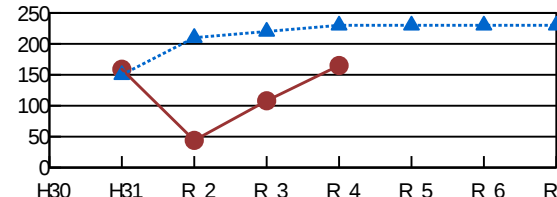
【事業の目的】

対象（何を）	市外に居住しており、地方への移住を考えている人
意図（どのような状態にしたいか）	地方への移住を考えている人に対し、本市の魅力を効果的に発信することなどにより、本市への移住を促進し、人口減少の抑制を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
移住・交流イベント実施回数	回	7	10	14	9	9
移住ナビ新規情報発信回数	回	11	33	17	40	40

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	年間社会増（1月～12月）	人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
			実績値	608	-334	279		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 行動制限や入国制限の緩和によって人口移動が回復傾向にあり、令和4年の社会動態は再び社会増に転じたが、目標には達しなかった。 （目標達成度） 							（達成度） 27.9% 9点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	本市主催の移住・定住促進のためのイベント等への参加者数	人	目標値	210	220	230	230	230
			実績値	44	108	165		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図りながら、前年度以上にイベントを開催することができ、前年度を上回る参加があったが、目標には達しなかった。 （目標達成度） 							（達成度） 71.7% 25点

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	〔千円〕	48,065	42,156	51,037	56,403
（事業費）	〔千円〕	32,353	24,791	33,824	39,190
（職員人件費）	〔千円〕	15,712	17,365	17,213	17,213

【評価】

評価ランク（A～D）	C	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	改善継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
新型コロナウイルス感染症の影響によるテレワークの急速な普及等を背景とした、働き方の多様化や、地方への「転職なき移住」に対する関心の高まりなど、全国の自治体に取り組む移住・定住促進施策を取り巻く環境が大きく変化している。 こうした社会情勢の変化を踏まえ、新たな課題にも対応するため、これまでの「高松市移住・定住促進方策」を見直し、令和5年3月に、「たかまつライフ促進プラン」を策定した。 今後においては、社会情勢の変化に対して柔軟かつ迅速に対応しながら、移住・定住促進の取組を推進する必要がある。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
「たかまつライフ促進プラン」に基づき、「転職なき移住」の促進を始め、大都市圏に居住する若い世代のUJエターン促進や、市内出身の若者の地元定着につながる効果的な取組を推進する。 また、移住促進の地域間競争が激化する中、定住人口の拡大だけで地域活力の維持・向上を図ることには限界があることから、首都圏等におけるシティプロモーションの取組と連携しながら、関係人口の更なる創出・拡大に取り組む。 これらの新たな取組については、全国の先進事例等に関する情報収集を常に行いながら、スピード感を持って事業化を図る。			

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策		国際・国内交流の推進と定住の促進		課(室)名	政策課
	施策		移住・交流の促進		電話番号	087-389-2135
	基本事業		選ばれる地域づくりの推進		事業実施主体	市
	事務事業		政策コンテスト開催事業	事業期間	平成 29年度～令和 5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	本市の将来を支える若者のアイデアを本市の政策に取り入れるとともに、若者の地元への愛着を深め、地元への定着につなげるため、出場者の理想とするまちづくりを事業化まで含めた政策として考える政策コンテストを開催する。				
5年度概要	政策コンテスト開催 政策アイデアの事業化の検討				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	6-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	チーム代表は瀬戸・高松広域連携中枢都市圏に在住、又は勤務・通学している者、チームメンバーは中学生から39歳以下の者。
意図（どのような状態にしたいか）	本市が将来も若者から選ばれるまちであるために、将来を支える若者のアイデアを、本市の政策に取り入れるとともに、若者の地元への愛着を深め、地元に定着させることを目的とする。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
政策コンテスト参加チーム数	チーム	0	0	9	10	10

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	アンケート結果による愛着が高まったとする割合	%	目標値	95	95	95	95	95
			実績値	0	0	100		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 愛着が高まったとする割合が100%であり、目標を達成できた。 (目標達成度) 							(達成度) 105.3% 35点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	2,993	3,775	11,084	11,084
（事業費）	〔円〕		0	3,600	3,600
（職員人件費）	〔円〕	2,993	3,775	7,484	7,484

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
3年ぶりに政策コンテストを開催し、これまで課題となっていた政策アイデアの事業化に重点を置いて実施した結果、複数の政策アイデアが事業化される予定である。 今後、シビックプライドの醸成を図りながら、政策提案を市政に取り入れるため、若者の夢のある政策立案と政策アイデアの事業化の両立に取り組む必要がある。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
シビックプライドの醸成につながる政策アイデアの立案と政策アイデアの事業化の両立に向けて、政策コンテストのプログラムの改善を図る。			

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策		国際・国内交流の推進と定住の促進		課(室)名	移住・定住促進室
	施策		移住・交流の促進		電話番号	087-839-2143
	基本事業		選ばれる地域づくりの推進		事業実施主体	市
	事務事業		生涯活躍のまちづくり推進事業	事業期間	平成 30年度～令和 5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	中高年齢者の希望に応じた暮らしの実現や地域住民の多世代交流を促進するため、移住者を含めた地域住民が主体となり本市の特性や強みを生かした地域づくりを目指す、「生涯活躍のまち」の理念を反映したまちづくりを推進する。				
5年度概要	高松版生涯活躍のまち構想の周知・啓発				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

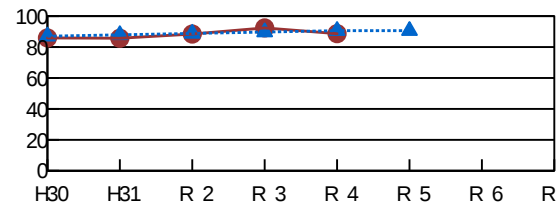
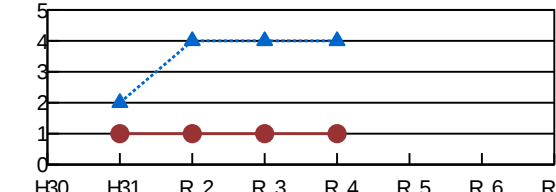
【事業の目的】

対象（何を）	50・60歳代の移住者を含むアクティブシニア及び地域コミュニティ協議会
意図（どのような状態にしたいか）	平成30年度に策定した「高松版生涯活躍のまち構想」に基づき、地域コミュニティ協議会を軸として、移住者を含むアクティブシニアが、地域に溶け込み、多世代の地域住民との交流を行いながら、自らの経験やスキルをいかして生涯健康で生きがいを持って活躍することができる地域づくりを目指す。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R2	R3	R4	R5	中期目標 R5
ワークショップ開催回数	回	9	0	0	0	0
生涯活躍のまちづくりに取り組むコミュニティ協議会数	地区	4	5	5	8	8

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R2	R3	R4	R5	中期目標 R5
	50代及び60代の市民における「住みやすさ」に対する市民満足度	%	目標値	88.8	89.7	90.6	90.6	90.6
			実績値	88.41	92.37	88.66		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 令和4年度市民満足度調査において、本市が「住みよい」「まあまあ住みよい」と答えたシニア世代の割合は88.66%と、目標を下回った。 (目標達成度)							(達成度) 97.9%
		34点						
								
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R2	R3	R4	R5	中期目標 R5
	コミュニティプランに生涯活躍のまちの考え方を盛り込んだコミ協の数	地区	目標値	4	4	4		4
			実績値	1	1	1		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） コミュニティプランを大幅に見直した件数が少なく、また、生涯活躍のまちの考え方を盛り込む余地がなかったことから、目標を達成することができなかった。 (目標達成度)							(達成度) 25.0%
		8点						
								

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	6,041	3,020	2,994	2,994
（事業費）	〔円〕	55			
（職員人件費）	〔円〕	5,986	3,020	2,994	2,994

【評価】

評価ランク (A～D)	C	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	改善継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
コミュニティプランに「高松版生涯活躍のまち構想」の考え方を取り入れる地域が増えるような啓発の方法を検討した。また、次期総合計画の策定に合わせ、本構想の位置付けを検討する必要がある。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
関係課と連携し、「高松版生涯活躍のまち構想」の周知・啓発方法を検討する。 また、令和5年3月に策定した「たかまつライフ促進プラン」や、次期総合計画の分野別施策の方針を踏まえ、国が全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」において推進する「関係人口」を含む都市と地方の人材循環を通じた「人の流れづくり」を検討する。			